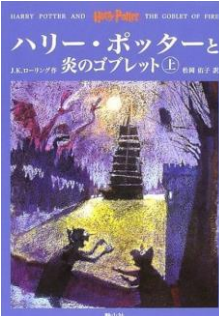


■10月のおすすめ本

今年は暑い日が続いていますが、10月に入り季節は夏から秋へと移ろうとしています。寒暖差に気を付け読書を楽しみましょう！！

*図書室にあります	(図書委員のおすすめ)		
	ハリー・ポッターと炎のゴブレット 上		
	J.K.ローリング	P557	文庫
	静山社	2002年	
	魔法界のサッカー・クィディッチのワールドカップが行われる。ハリーたちを夢中にさせたブルガリア対アイスランドの決勝戦のあと、恐ろしい事件が起きる。そして、百年ぶりに開かれる三大魔法学校対抗大会に、ヴォルデモートが仕掛けた罠は、ハリーを絶体絶命の危機に陥れる。しかも、味方になってくれるはずのロンに、思いもかけない異変が……。とても面白いハリー・ポッターシリーズの一つです。ぜひ続編の下と一緒に読みすることをおすすめします。		

*図書室にあります	(図書委員のおすすめ)		
	ハリー・ポッターと炎のゴブレット 下		
	J.K.ローリング	P582	文庫
	静山社	2002年	
	クリスマス、ダンスパーティーは、女子学生にとっては待ち遠しいが、ハリーやロンにとっては苦痛でしかなかった。ハーマイオニーのダンスのお相手は意外な人物そして、はぐりっとにもパートナーガ？三校対抗試合の緊張の中、ロマンスが飛び交う。しかし、その間もヴォルデモート不気味な影がホグワーツ城を徘徊する。本当に怪しいのはだれか？難題を次々とクリアするハリーだが、最後の試練には痛々しい死が…。ひとつ前に紹介した本の続編です。先が知りたくなるほどのハラハラする展開が待っています、ぜひ読んでください。		

*購入予定です	(図書委員のおすすめ)		
	まだ見ぬ春も、君のとなりで笑っていたい		
	汐見夏衛	P375	文庫
	スターツ出版文庫	2019年	
	恋も、友情も、親との関係も将来のこともなにももうまうまいかな悲しくて、悔しくて、苦しくてどうしようもなくひとり泣いていた私のもとに舞い降りたのは春の陽射しのように優しい歌声と天使のような男の子言葉にならない傷を抱えてそれでも私たちは生きていくまだ見ぬ春も君のとなりで笑ってないから。「だから私は、明日のきみを描く」のスピノフ作品です。この本と合わせてぜひ読んでく		

*購入予定です	(図書委員のおすすめ)		
	70年分の夏を君に捧ぐ		
	櫻井千姫	P448	文庫
	スターツ出版文庫	2017年	
	それは、70年の時を超えた出逢い奇跡が運ぶ、狂おしいほどの愛。2015年、夏。東京に住む高2の百合香は、真夜中に不思議な体験をする。0時ちょうどに見ず知らずの少女と謎の空間ですれ違ったのだ。そして、目覚めるとそこは1945年。百合香の心は、なぜか終戦直前の広島に住む少女・千寿の身体に入りこんでいた。一方、千寿の魂も現代日本に飛ばされ、70年後の世界に戸惑うばかり…。以来毎晩入れ替わるふたりに、やがて、運命の「あの日」が訪れる。ラスト、時を超えた真実の愛と絆に、心揺さぶられ、涙が止まらない！この現実に向かい合う二人の姿がかっこよく、たくさんのことを考えさせられる本となっています。ぜひ、読んでください。		
	スターツ出版文庫		

*購入予定です	(図書委員のおすすめ)		
	僕の永遠を全部をあげる		
	汐見夏衛	P287	文庫
	スター出版文庫	2019年	
	君がどこにしようと、僕は必ず君を見つける。たとえ君がどんな苦しみの中にとようと、僕が救い出してみせる。人との関わりを曲後の恐れる千花に寄り添い、彼女の閉ざされた心をその優しさで少しずつ溶かしていく留生。しかし二人の出会い、気が遠くなるような年月を経た、悲劇的な宿命を背負っていた。この本は綺麗な表紙からそそられ二人が織りなす感動の青春小説です。とても面白いのでぜひ読んでみてください。		

*購入予定です	先生方のオススメ		*図書室にあります
大庭先生のオススメ		坂田宜子先生のオススメ	
プロ野球人生のすべては、あの日、星野監督が”交渉獲得権”を引き当てた瞬間から始まった。入団1年目に新人賞、Gグラブ賞を受賞し、通算2480安打、日本記録となる487本の二塁打など、数々の記録、記憶を残したミスタードラゴンズ・立浪和義。彼の原点とは？大庭先生がおすすめするこの本はしんどい時でも、もっと頑張ろうと思える本になっているそうです。まずは読んでみてください。		それはついこのあいだほんの百年すこしまえの物語。小説家の主人公がなくなった親友の実家の家守を頼まれ、床の間の掛け軸から船に乗って出てくる親友の幽霊や家に訪れ妖怪や何者かと交わる物語…坂田先生イチオシの心理フィクションです。図書室にあるのでぜひ、読んでみてください。	
	負けん気		
	立浪和義		
	文芸社		
	2010年		
	255ページ		
		家守綺譚	家守綺譚
		梨木香歩	梨木香歩
		新潮社	新潮社
		2004年	2004年
		155ページ	155ページ